

まちづくり支援団体登録シート（閲覧用）①

フリガナ	ネヌビーオーハウジン ミニシティプラス	
団体名	NPO 法人ミニシティ・プラス	
代表者氏名	三輪 律江	
支援分野（注1）	支援分野の内容	
ルール又は プランづくり等	地域まちづくりプラン 地域まちづくりルール 地区計画 建築協定 景観計画 景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画	
市街地開発事業等	土地区画整理事業 市街地再開発事業	
防災まちづくり等	横浜市の制度を活用した地震火災対策 防災マップの作成・活用 多世代向け防災イベントの企画・運営 密集市街地の改善	
その他 得意とする分野	○	地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 水・緑・環境 <u>歴史・文化・アート</u> 空き家・空き地の利活用 <u>商店街活性化</u> 狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 <u>コミュニティの再生</u> <u>地域の活動拠点運営</u> 地域公共交通 <u>ICT・WEBの活用</u> その他（ ）

※得意とする支援の内容を囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、その他の欄に記入してください。

支援分野に関する支援の実績等	支援分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等
	こどもの社会参画～こどものまちの運営	横浜市緑区 他	2018年～2025年	※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 2007年こどものまち「ミニヨコハマシティ」を運営するようになり15年が経過した。横浜市だけではなく、川崎の「ミニ・カワサキ」、葉山町の「こどもタウン葉山」、逗子市の「ミニ逗子シティ」、最近ではこれからはじまる「ミニまちだ」などへ、子ども市会議員を中心に大人と一緒に子どもたちも派遣し、立ち上げのサポート、活動のサポートを実施している。横浜市緑区50周年事業では受託事業として年間を通してサポート。
	こどもの社会参画～特命子ども地域アクター	横浜市戸塚区、都筑区、中区、緑区、港北区	2012年～2022年	青少年を課題を抱えるまちづくり団体に派遣先し、大人のだまちづくり団体の事業に参画し、課題または使命を解決する事業。2018年度までの5年間神奈川県との協働事業で、実施し、その後自主事業として行っている。現在までに63団体に延べ205人の青少年を派遣しプロジェクトを実施、成果を上げた。ただ派遣するだけでなく、地域の子どもたちをまちづくりに引き込み、地域での継続を図るところまでを事業と考えている。
	こどもの社会参画～ジュニア編集局	横浜市	2020年～2025年	子ども達が地域の情報を発信するメディア、ジュニア編集局を実施してきた。その実績から地域で同様の事例を持ちたいと検討する団体、個人からヒアリングを受けることが多くなった。東京都市大学と協働で2020年に前川財団の助成で「子どもを主体とした地域メディア活動による新しい学びの分析」という研究を行い、ハンドブックを作成した。

※注意：このシートは横浜市のホームページ等で公開されます。まちづくり支援団体登録シート（閲覧用）②

支援分野に関する支援の実績等				

まちづくりに関するPR